

令和元年 5 月 31 日

土佐リハビリテーションカレッジ
理事長 大崎 博澄 様

学校関係者評価委員会
委員長 北村 剛

平成 30 年度学校関係者評価委員会報告

平成 30 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 小笠原 正（企業等評価委員）
- ② 一圓 智加（企業等評価委員）
- ③ 細田 里南（卒業生評価委員）
- ④ 北村 剛（卒業生評価委員 委員長）
- ⑤ 井澤 三男（専門家等評価委員）
- ⑥ 濱川 美香（高等学校等評価委員）
- ⑦ 下村 幸正（保護者評価委員 副委員長）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第 1 回委員会 平成 27 年 8 月 29 日（会場：土佐リハビリテーションカレッジ会議室）
- 第 2 回委員会 平成 28 年 10 月 1 日（会場：土佐リハビリテーションカレッジ会議室）
- 第 3 回委員会 平成 29 年 7 月 29 日（会場：土佐リハビリテーションカレッジ会議室）
- 第 4 回委員会 平成 31 年 3 月 26 日（会場：土佐リハビリテーションカレッジ会議室）

3 学校関係者評価委員会報告書

別添のとおり

以上

別添

令和元年 5 月 31 日
土佐リハビリテーションカレッジ
学校関係者評価委員会

平成 30 年度学校関係者評価委員会報告書

平成 31 年 3 月 26 日に開催された委員会の討議に基づく検討課題と改善に向けた取り組みについて評価結果をまとめた。

I. 学校運営目標について

1. 国家試験合格率について

○「国家試験合格率 新卒者 100%」の達成状況

第 54 回国家試験が平成 31 年 2 月 24 日に実施された。理学療法士国家試験において、全国では新卒受験者 10,608 名に対し合格者 9,845 名（合格率 92.8%）であった。一方、本校では新卒受験者 41 名に対し合格者 38 名（合格率 92.7%）であった。

作業療法士国家試験において、全国では新卒受験者 5,137 名に対し合格者 4,108 名（合格率 80.0%）であった。一方、本校では新卒受験者 40 名に対し合格者 33 名（合格率 82.5%）であった。

両学科共に「新卒者合格率 100%」の目標を達成できなかったが、その合格率は全国平均を下回ることがなかった。また、既卒者も含む受験者全体の合格率も両学科共に全国平均を上回ることができた。

【学校関係者評価委員からの意見】

合格率新卒 100%達成のためにどのような対策を行っているか。

【学校としての対策】

4 年次卒業研究の準備をより早期に行い、4 年後期には受験勉強に専念できるよう配慮している。模擬試験成績が不振な者に対しては個別指導を行っている。

2. 4年間卒業率について

○「4年間卒業率 80%以上」の達成状況

今春、第23期生が社会へと巣立った。

平成27年度入学生であった第23期生の入学数は両学科共44名であった。これらの内、本校修業年限の4年間で卒業できたのは前者の学科で38名（卒業率86.4%）、後者の学科も同様に38名（卒業率86.4%）であった。

なお、文部科学大臣認定「職業実践専門課程」の要件の一つとなる「卒業率70%以上」も達成することができた。

【学校関係者評価委員からの意見】

作業療法学科の卒業率が著しく改善している。どのような努力か。

【学校としての対策】

1、2年生のクラス運営では人付き合いの苦手な学生にもクラス内に居場所を確保している。また、クラス担任が度々面談を行い、きめ細かな対応に努力している。

3. 退学者数および留年者数について

○「退学者数10名以内および留年者数5名以内」の達成状況

平成30年度当初の在學生総数は320名（理学療法学科162名、作業療法学科158名）であった。この内、退学者は18名（退学率5.6%）、留年者は4名（留年率1.3%）であった。平成29年度に比較して留年者は約半数にまで減少したものの、退学者は大幅に増加した。

【学校関係者評価委員からの意見】

特になし。

4. 入学試験受験者実数について

○「入学試験受験者実数 100名以上」の達成状況

平成30年度入学生数は両学科共39名であった。入学定員80名に対して、受験者実数は81名（理学療法学科40名、作業療法学科41名）にとどまった。入学生確保のためにオープンキャンパス開催や進学ガイダンス参加、高等学校訪問等の学生募集活動を積極的に展開したが、進展する18歳人口の減少と、それに相反し増え続けた理学療法士・作業療法士養成校等の要因により、運営目標を達成することが困難であった。

【学校関係者評価委員からの意見】

平成31年度の受験者数の学科別の内訳はどうなっているか。

【学校としての対策】

平成31年度実数は、理学療法学科53名、作業療法学科30名、計83名であった。

5. 就職率について

○「就職率 100%」の達成状況

両学科の就職率は第1期卒業生以来、23年連続して100%を達成している。平成31年度採用の求人数は理学療法学科2,401人、作業療法学科2,401人であった（ただし、平成31年2月末までの集計値）。昨年度に比べて両学科共に求人数は県内外で増加傾向にあり、理学療法学科で8.8%、作業療法学科で11.5%の増加を示した。

【学校関係者評価委員からの意見】

就職先の分野について聞きたい。

【学校としての対策】

理学療法学科は医療施設が多い。作業療法学科は訪問リハや通所デイなどの事業所への就職が増加している。

両学科共に県内外比は、ほぼ1:1で、就活準備の早期化と面接・小論文対策に注力している。

Ⅱ. 保護者に対するアンケート調査について

【保護者アンケート調査の概要】

- アンケート表は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構により作成された「専修学校における学校評価ガイドライン」（以下、ガイドライン）を参考に作成した。
- 平成 30 年 11 月末現在で本校に在籍する 308 名の保護者を対象とした（兄弟で在籍している場合は 1 部のみ）。調査表は保護者へ郵送し、学校に返送してもらった。アンケート調査への回答は無記名としたが、属性に関する記載欄を設け学科と学年は聴取していた。アンケートの集計は学校関係者評価委員会の運営担当職員がおこなった。
- 30 の質問項目と自由記載欄で構成されている。
各質問に対し「大いに思う」「そう思う」「あまり思わない」「全く思わない」「わからない」の 5 選択肢の中からもっとも近いものを択一してもらった。
- 集計にあたっては「わからない」を除外したうえで「大いに思う」を 4 点、「そう思う」を 3 点、「あまり思わない」を 2 点、「全く思わない」を 1 点として各設問における平均点を算出した。なお各設問は「思う」度合いが高いほど肯定的となるようにした（肯定的最高点 4 点、最低点 1 点）。
 - アンケート実施期間：平成 30 年 12 月 14 日～平成 31 年 1 月 15 日
 - 送付数 305
 - 回答数 85 （回答率 27.9%）
 - 回答者 保護者 41 名（48.2%） 学生 11 名（13.0%） 合同 33 名（38.8%）
 - 学科内訳 理学療法学科 48 名（56.5%） 作業療法学科 37 名（43.5%）
 - 学年内訳 1 年生 19 名（22.4%） 2 年生 20 名（23.5%）
3 年生 24 名（28.2%） 4 年生 22 名（25.9%）

※平成 30 年度 保護者アンケート結果 別紙参照

【学校関係者評価委員からの意見】




- ・項目 No. 13 について、退学率低減の対策が保護者に周知できているか。
- ・項目 No. 15 について、家庭への連絡頻度はどれくらいか。
- ・アンケート結果では学校が保護者や学生から評価されていると思われる。

【学校としての対策】

- ・（項目 No. 13 について）本校教育の特徴の一つとしてホームページやパンフレット等にて広報している。
- ・（項目 No. 15 について）授業への出席状況や成績が良くない学生については、クラス担任が必要に応じて保護者に連絡している。

平成 30 年度 保護者アンケート結果

	質問	評定平均	H27 分
1	学校の理念・教育方針について理解できていると思う。	2.9	2.9
2	学則について理解できていると思う。	3.0	2.9
3	教育活動に関する情報公開は適切に行われていると思う。	3.0	2.9
4	授業内容は充実し、わかりやすく展開していると思う。	3.0	2.9
5	授業レベル・学習量は適切であると思う。	3.0	2.7
6	教員は一人ひとりの学習状況を把握していると思う。	2.9	2.7
7	担任と学生とのコミュニケーションは十分取れていると思う。	3.0	2.9
8	教育カリキュラム（時間割等）は適切であると思う。	3.0	2.9
9	授業評価の実施・評価が適切に行われていると思う。	3.0	3.0
10	成績評価は適切に行われていると思う。	3.1	3.0
11	臨床実習中のサポートは十分に行われていると思う。	3.0	2.8
12	国家試験対策は充実していると思う。	3.0	2.9
13	退学率の低減のための対策が図られていると思う。	2.7	2.4
14	学生の相談窓口は明確になっていると思う。	2.8	2.8
15	教員は保護者と必要に応じて連絡を取り、家庭と適切な連携を保っていると思う。	2.7	2.5
16	学生の健康面や安全面における指導は適切になされていると思う。	2.9	2.8
17	学校事務職員の窓口や電話対応は適切に行われていると思う。	3.0	3.1
18	クラブ活動などの課外活動は充実していると思う。	2.7	2.7
19	就職に関する指導・対策は充実していると思う。	3.0	3.0
20	専門教育を学ぶ設備（機器や用具）は充実していると思う。	3.1	3.1
21	図書室は十分に整備されていると思う。	3.0	3.1
22	食堂は十分に整備されていると思う。	3.1	2.9
23	学校の防災設備は十分に整備されていると思う。	2.9	3.0
24	本校在学中の学納金は低く抑えられていると思う。	2.1	2.0
25	個人情報保護は適切に行われていると思う。	3.0	3.0
26	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っていると思う。	3.0	2.9
27	学生のためのボランティア活動を奨励・支援していると思う。	3.0	3.0
28	地域に対して公開講座などを積極的に開催していると思う。	2.7	2.6
29	学校の運営状況は十分に公開されていると思う。	2.8	2.8
30	本校に入学して「良かった」と思う。	3.2	3.2

	前年度よりアップ
	前年度よりダウン
	前年度と同数値